

よしい清介

活動報告

日頃より、よしい清介に対しまして、ご支援とご理解を賜り、誠にありがとうございます。さて、令和3年は、コロナ対策に集中し、PCR検査の充実をはじめ、ワクチン接種の促進が大きな最重要課題でありました。合わせて、本年7月・8月の豪雨対策等国や県と市町の連携が、重要なポイントとなる課題ばかりでありました。特に、国の予算を必要とする案件が大半であり、県の役割としては、一層重大な責務を負う事案ばかりであります。今日までの県市町の連携を生かし、来年も確実な成果につながるよう努力邁進してまいります。



吉井の令和3年6月定例県議会での一般質問



1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 第4波対策に係る諸課題について
- ② 感染症の拡大防止と経済の両立について

2 新型コロナワクチン接種について

3 地域医療構想の実現に向けた取り組みについて

4 病院の統廃合が与える地域への影響について

5 医療の高度化と人材育成の拠点整備について

6 平成30年7月豪雨災害からの復旧状況について

7 第一次産業の振興と後継者問題について

8 旧広島陸軍被服支廠について

※上記「一般質問及び関連答弁」の詳細については、広島県ホームページ、又は尾道新聞記事(2021年7月4日以降、10回シリーズで掲載)をご覧ください。



作業服で災害地域を視察する吉井

コロナ禍を注視しつつ、 安心安全活動にひたすら汗を流す

よしい清介は、4年間の政治空白の終盤を含め、2019年4月に県議4期目を迎えるや否や、直ぐさま「2018年7月発生の災害復旧対策」に、迅速かつ精力的に取り組みました(県政報告No.1及びNo.2に記載済み)。以後も引続いて、残る多くの「復旧対策」に、またその他、幅広く活動しております。